

教材の活用場面

活用した教材	発表資料を作るには（教材番号 A2 - 1）		
教材URL	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_model/contents15/index.html		
STEP	STEP 2	領域	A 基本的操作
学校名	都立南大沢学園	校種	特別支援学校
学年	高等部第 1 学年	教科等	理科
単元名	先生になろう		
活用の概要	東京都教育委員会情報活用能力デジタル教材「発表資料を作るには（A2-1）」を視聴し、プレゼンテーションソフトの基本的な使い方を学んだ後、期末考査で間違えた問題を、プレゼンテーションソフトを使って生徒が解説できるようにする。		

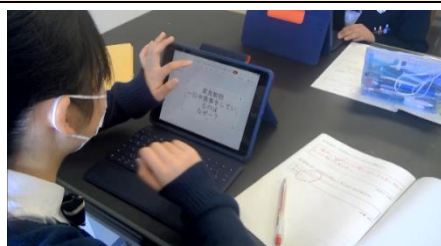
活用の様子

【ポイント1】 デジタル教材を用いて、本時の内容の見通しをもつ。



授業の導入段階でデジタル教材を視聴し、プレゼンテーションソフトの使い方を学び本時の目的である「期末考査で間違えた問題を友達に説明する」ための発表資料作成に取り組む。

【ポイント2】 デジタル教材を参考にして自身の考えを発表資料にまとめる。



視聴したデジタル教材を参考に、それぞれの発表資料を作る。
また、適宜動画教材を振り返ることが出来るようにしておく。

【ポイント3】 相手に伝えるための効果的な方法を意識し、発表を行う。



デジタル教材で学んだ「アニメーションの活用」などを参考にして、プレゼンテーションにアニメーション等を追加した発表原稿を作成し、全体の前で発表を行う。

授業中の活用ポイント

段階	●主な学習活動・生徒の活動	○支援・留意点■デジタル教材☆評価
導 入	<p>1 本時のめあてについて知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画教材を視聴して、基本的な操作を覚えるとともに、「相手に伝えることで理解を深める」という本時のめあてを知る。 	<p>○授業の流れを説明し、活動に見通しをもたせる。</p> <p>■動画教材「発表資料を作るには（A2-1）」を視聴し、効果的なプレゼンテーション資料の作成方法が確認できるようにしておく。</p>
展 開	<p>2 調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返却された定期考査の結果を確認し、間違えた問題について正答を調べる。 <p>3 発表資料を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違えた問題の解説用プレゼンテーションファイルを作成する。 <p>4 全体に発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したプレゼンテーション資料を基に、全体に発表をする。 	<p>○問題の内容を確認した上で、正答を調べることを伝える。</p> <p>○どのようにすると見やすい資料になるか具体例を提示する。</p> <p>■発表資料を作成する際に、繰り返し視聴することができるようにしておく。</p> <p>○相手に伝えるための声の大きさ等を意識して発表ができるようにする。</p>
ま と め	<p>5 発表を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの発表を聞き、感想を話しあう。 	<p>☆分かりやすいプレゼンテーション資料を作ることができている。</p> <p style="text-align: center;">【思考力・判断力・表現力】</p>